

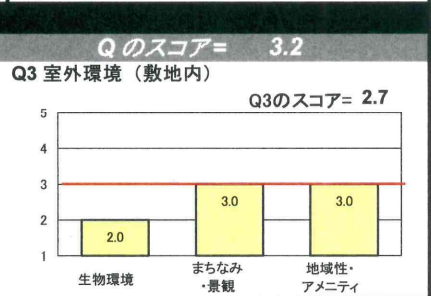
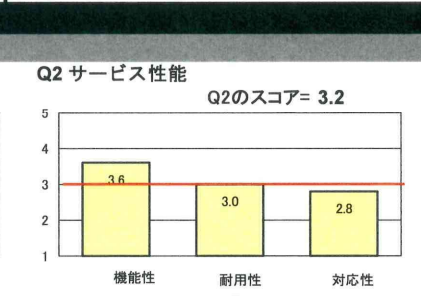
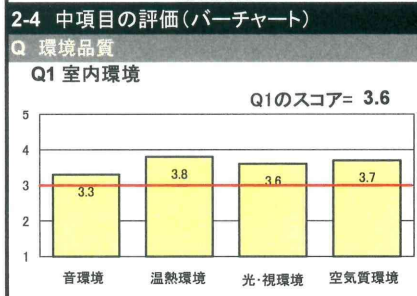
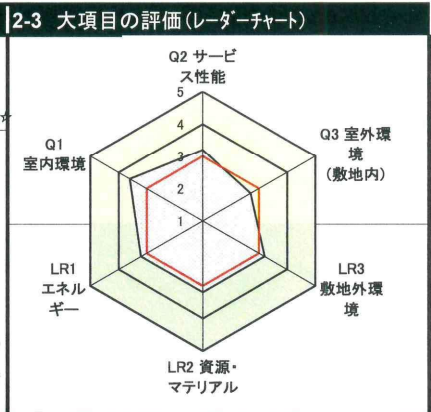
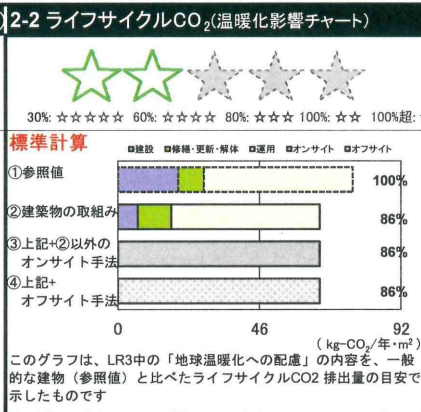
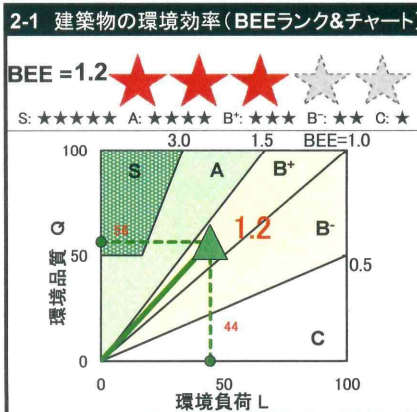
# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要	
建物名称	(仮称)ワコーレ武庫之荘東2丁目マンション新築工事
建設地	兵庫県神戸市武庫之荘東2丁目690-1, 690-3, 691-1, 692-1, 693-12, 693-15
用途地域	第一種中高層住居専用地域
地域区分	6地域
建物用途	集合住宅
竣工年	2024年2月 予定
敷地面積	3,136 m <sup>2</sup>
建築面積	1,408 m <sup>2</sup>
延床面積	6,798 m <sup>2</sup>

階数	地上8F
構造	RC造
平均居住人員	347 人
年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年6月7日
評価の実施日	2022年6月7日
作成者	横山 嘉夫
確認日	2022年6月7日
確認者	横山 嘉夫



### 3 設計上の配慮事項

**総合**  
室内環境は、断熱性や遮音性に配慮し入居者にとって快適な空間となるよう配慮した。また、敷地内には緑化を行うことで、熱負荷抑制を図った。  
建物全体としては、躯体や配管の長寿命化や資源保護に配慮した計画とした。

**Q1 室内環境**  
遮音性を確保しつつ、十分な大きさの開口を設けることで明るい空間となるよう配慮した。一方、窓とカーテンを組み合わせて適切に遮光制御もできる計画とした。  
断熱性能等級4相当とし、使用材料はF☆☆☆☆にするなど快適な室内空間を目指した。

**Q2 サービス性能**  
劣化対策等級3相当とし、配管は耐用年数の長いものを採用するなど、建物の長寿命化・更新性を考慮した計画とした。

**LR1 エネルギー**  
断熱等級4相当とし、建物の外皮の熱負荷抑制を図った。

**LR2 資源・マテリアル**  
節水型便器などを採用し、水資源の保護に配慮した計画とした。また、建物解体時などに分別が容易となるよう、GL工法を採用しリサイクル促進を図った計画とした。

**LR3 敷地外環境**  
ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率: 86%  
建物の長寿命化を図り、LEDなど高効率設備を採用することで、CO<sub>2</sub>排出量が参照値を下回るよう配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される